

黎明 イザヤ 9:1-7

2024. 12. 1、丘の上 NO. 738
春日部福音自由教会 山田豊

先週日曜日 11月24日午後7時、イトーヨーカドー春日部店が閉店いたしました。学生の時、旧店舗でアルバイトとして働いたことがあり、春日部市民にとっては大切なスーパーだと思っていましたので、その最後を見届けるべく、〇兄と一緒にシャッターが下ろされるまで、店頭におりました。フレさんに行こうとして後ろを振り向くと、あまりの人の多さにびっくり、これだけ多くの人がこのお店の別れを惜しんでいたのだと、改めて実感いたしました。

ヨーカドーにとってはこの日がおしまいでしたが、降誕祭を控えた待降節第1日目として、主のご降誕を待ちわびる期間が始まります。本日の説教題は黎明。終わりではなく、暗い闇を破って太陽が昇ると新しい一日が始まるように、私たちの心の闇をうち破って新しい人にしてくださる、主イエス・キリストの誕生を心から喜びたいと思うのです。

2節に「闇の中を歩んでいた民は大きな光を見る」とあります。かつて教会仲間と一緒にイスラエルツアーでガリラヤ湖の夜明けの時に見た太陽は、日本で見るとより大きく、光も強いと感じました。このイザヤ書の背景は、アラム—エフライム戦争当時（前733年頃）と考えられます。この後にはバビロン捕囚が起り、ユダの国の存亡がかかった、暗い時代であったわけです。6節には、「ひとりのみどりごが私たちのために生まれる。ひとりの男の子が私たちに与えられる。主権はその肩にあり、その名は「不思議な助言者、力ある神、永遠の父、平和の君」と呼ばれる。」とあります。上る太陽に、イエス・キリストを重ね合わせたことに合点がきました。

イエス・キリストは、政治的に暗い状況を明るくするのではなく、心の闇を照らし、そこからの解放をもたらすお方です。人は、罪の獄屋(ひとや)に捕らえられているのです。どんなにあがいても、善い行いを重ねたとしても、そこからの解放は、イエス・キリストの十字架以外にはないのです。人の罪の苦しみを担うために、イエス・キリストはベツレヘムで人として生まれたのでした。昨年からの町には、自由にで入りすることができなくなりました。人の争いに巻き込まれてしまったのです。

争っている人はすべて、神の前に悔い改め、ひざを折らなくてはなりません。悔い改めてイエスを信じるこそ、人生の黎明です。暗闇はうち滅ぼされ、光の中を歩く人生が始まるのです。

引用聖句

イザヤ 53:7-10 彼は痛めつけられ、苦しんだ。だが、口を開かない。屠り場に引かれて行く羊のように、毛を刈る者の前で黙っている雌羊のように、彼は口を開かない。8 虐げとさばきによって、彼は取り去られた。彼の時代の者で、だれが思ったことか。彼が私の民の背きのゆえに打たれ、生ける者の地から絶たれたのだと。9 彼の墓は、悪者どもとともに、富む者とともに、その死の時に設けられた。彼は不法を働かず、その口に欺きはなかったが。10 しかし、彼を砕いて病を負わせることは【主】のみこころであった。彼が自分のいのちを代償のささげ物とするなら、末長く子孫を見ることができ、【主】のみこころは彼によって成し遂げられる。

ピリピ 2:6-9 キリストは、神の御姿であられるのに、神としてのあり方を捨てられな
いとは考えず、7 ご自分を空しくして、しもべの姿をとり、人間と同じようにな
りました。人としての姿をもって現れ、8 自らを低くして、死にまで、それも十字
架の死にまで従われました。9 それゆえ神は、この方を高く上げて、すべての
名にまさる名を与えられました。

詩 130:6 私のたましいは夜回りが夜明けをまことに夜回りが夜明けを待
つのにまさって主を待ちます。

イトーヨーカドー春日部店

現在の店舗は二代目。初代（1972～1996）の店舗は向いの旧大塚家具春日部ショールーム（閉店）として現存する。この時は、1階が食料品売り場であった。2代目店舗は、売り場は地下1階から地上5階で、食品や衣料品、生活雑貨、文具などを取り扱った。『クレヨンしんちゃん』に登場するスーパーマーケット「サトーココノカドー」のモデルとなった店舗で、2017年にそれに合わせて屋上看板が一時的に「サトーココノカドー」仕様に変更された。改名して営業する際、それに関するグッズが販売されている。

2024年11月24日19時をもって閉店した。防犯上の理由などから閉店セレモニーは行われなかったが、営業最終日には地元住民やクレヨンしんちゃんのファン達が詰めかけて同店の閉店を惜しんだ。

